

# 新退教通信

No.194

2024.12.1

新潟県退職  
教職員連絡協議会  
Tel・Fax 025-281-8146

## また繋がった

## 組合の輪



新退教副会長

神田 久子

新退教副会長2年目となりました。若かりし頃、新潟県教職員組合三市中東蒲支部の支部長を3年間していました。今から思えば、本当にいろいろな方々と繋がり、様々な貴重な経験をさせてもらいました。分会会議、支部執行委員会そして県大会などで多くの方々との知り合いになりました。退職してから退職後の輪を広げようと新退教に入ろうとしたら、地元五泉に新退教新潟五泉支部がありました。地元五泉に新退教新潟五泉支部がありました。退職して3年目の春に、高橋初敏さんと新井秀和さんが新退教新潟五泉支部を復活させてくれたので、即、加入しました。しかし、すぐコロナ禍になり、なかなかスムーズに会合がで

きませんでした。現在は、まだ29人の小さな支部ですが、頑張っているところです。

退職後、私は、芸能界の門をたたきました。その門は、新潟お笑い集団ナマラエンターテインメントでした。学校現場にいた際に、こどもたちのコミュニケーション能力を高めるため、学校に講師として、「ナマラ」の芸人と呼ばれる講演会をしてもらいました。本当にすばらしい団体でした。現在は、「高橋なんぐ」と組んで活動の輪を広げているところです。昨年度の新退教50周年の際には、講演会に落語パフォーマンスをしてもらいました。また輪が広がっています。

今年度6月に、日退教の北陸ブロックの金沢大会に参加しました。誰も知らない人ばかりと覚悟を決めていたのですが、行ってみたら、新潟の知り合いがいました。本当に「つながる」ことの幸せに感謝する一時となりました。能登半島地震の被災の現状に触れ、有意義な機会となりました。最後の日に、金沢の近江町市場でふらっとはいつた居酒屋での「金沢おでん」が本当においしかったです。良く味のしみた大根の上に「とろろこんぶ」が鎮座していました。「所変われば品変わる」を感じ、本当にほっこりした気分で帰郷することができました。

これからも「つながり」の大切さを訴え、「組合の輪」を広げていきたいと思えます。



写真「豊実の船渡大橋とSL」  
武藤 常男さん（新潟五泉支部）

※武藤さんは第52回芸展の工芸部門で新潟日報大賞を受賞されました。

### 目次

(敬称略)

7p	6p	5p	4p	3p1p
新教組です② 新潟市支部委員長 柏刈支部書記長	新教組です② 本部執行委員 阿部 真理 鈴木 宏子	支部からのたより 村岩支部 上越支部 北魚支部 若井 陽子	支部からのたより 北新支部 長岡支部 南魚支部 堀口 生雄	巻頭言 新教組です① 本部書記次長 米澤 祐児
松崎 大樹	内山 宏子	山口 又 一 橋爪 陽子	山崎 文之 黒崎 博幸	神田 久子

# 10月 学びの集い

## 学びの集い 講演会

一〇月一六日 新  
教組会館三階大ホ  
ルで第七回「学びの  
集い」が開催されま  
した。

今回は、全国退職  
教職員生きがい支援  
協会「第十七回講演  
会」と共催で講演会  
を行いました。

講演会は、最近話  
題になっている「フ  
レイル」についてで  
した。介護状態にな  
る前の期間のことで  
この期間を上手に過  
ごすことで「健康寿  
命」が長くなると考  
えられています。つ  
ながり」を切ってし  
まう人がいます。「栄  
養」「運動」「社会参  
加」を実践して、習  
慣化することで、楽  
しい人生を送ってい  
きませんか。そんな  
ことを意識するとで  
も良い講演でした。



- 第17回 講演会**
- 1 開会の挨拶 (大坂会長)
  - 2 講師紹介 (支援協会)
  - 3 講演  
「フレイルを予防して  
はつらつ人生！  
つながりが生涯現役の秘訣」
  - 4 質疑応答
  - 5 閉会の挨拶

<b>講演の要旨</b>	<b>フレイルを予防して はつらつ人生！ ～つながりが生涯現役の秘訣～</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命と平均寿命の差</li> <li>・100才以上の人口→約9万5000人</li> <li>・長生きの秘訣             <ul style="list-style-type: none"> <li>— 好き嫌いなく3食きちんと食べる</li> <li>— 野菜を多く食べる</li> <li>— ポジティブ</li> <li>— 笑顔で楽しく過ごす</li> </ul> </li> <li>・フレイルチェック</li> <li>・新潟市と見附市の取組</li> <li>・フレイル予防の3つの柱 「運動」「栄養」「社会参加」</li> <li>・運動 → ラジオ体操、ウォーキング、筋トレ</li> <li>・社会参加 → つながりの数で寿命が決まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ川柳教室 「欲しかった 自由と時間 もてあます」 「久しぶり～ 名が出ないまま じゃあまたね」 「体脂肪 灯油にできたら ノーベル賞」 「定年後 ポチも嫌がる 5度目の散歩」 「3時間 待って病名 加齢です」 「改札を 通れずよく見りゃあ 診察券」 「小旅行よ 嘘と笑顔で 病院へ」 「日帰りで 行ってみたいな 天国へ」 「この俺に あたたかいのは 便座だけ」</li> <li>・とにかく「実践」「習慣化」 ラジオ体操カード、筋肉鍛え鯛カードの活用</li> </ul>

### 参加者の感想

南魚支部 樋口 篤子

ゆっくりと確実に忍び寄る老化。自覚がありつつも対策は一日延ばしでした。今日、統計的、科学的、具体的な方法を知り、やる気満々。本気で取り組むことを宣言させていただきます。

新潟市支部 山田 フサ

「フレイルを予防して はつらつ人生」の演題は、大変役に立ちました。フレイルの予防のため様々な方法を教えていただきこれから実践していきたいと思いました。三日坊主で終わることなく、一つでも習慣としたいと思います。

長岡支部 西村 宗彦

これからの人生をより豊かなものにするためにどうする？ 答えは、「やりたいことをやる」なのだ。お陰様で、「やりたいことはたくさんある」そのためにも健康寿命を意識し、フレイルの予防を少しずつ始めていこうと思いました。

北魚支部 横山ひろし

中尾先生、貴重な時間をありがとうございました。先生のたくさんの「つながり」、すごい行動力だと思います。輝いていらっしゃいます。

私も十年の差を縮められるよう、運動、栄養、社会参加を大切に行きたいと思えます。

# ミニコンサート

## 秋のバス独唱

「学びの集い」第二部に、新退教新潟市支部の支部長である「藤村 修」さんが歌手となつて、「秋のバス独唱」をしていただきました。

響きのある低音が三階ホールに響き渡りました。曲と曲の間に、藤村さんの絶妙な語り及び曲紹介が、会場全体を和ませてくれました。

プログラムの途中で、伴奏者からの「ノクターン」は心にしみました。

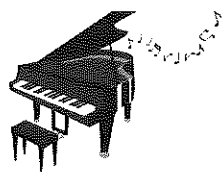
最後の曲は、藤村さんの先生から、「おなかの大きな王子様」は藤村さんに似ていると言われたエピソードの紹介が入り、笑いを誘っていました。参加者にとつて、余り聞いたことのない「バス」にふれ合う良き機会となりました。



- <プログラム>
- ~~バス独唱①~~
  - ①ヴォルガの舟歌
  - ②いのちの歌
  - ③スタンド・アローン
  - ④この街で
  - ~~ピアノ独奏~~
  - ⑤ノクターン第2番 作品9-2
  - ~~バス独唱②~~
  - ⑥ぼつねん
  - ⑦おなかの大きな王子様
  - ~~みんなで合唱~~
  - ※「ふるさと」
  - ~~アンコール~~

## 参加者の感想

藤村先生のすばらしいバス独唱でした。選曲もよく、初めて聴いた曲でも心に残るメロディでとても楽しかったです。



すばらしいコンサートでした。バス独唱がこんなに魅力的だとは思いませんでした。ブラボー！



藤村先生のすばらしいバス独唱でした。選曲もよく、初めて聴いた曲でも心に残るメロディでとても楽しかったです。

バス独唱は、初めてでたつぷりバスの響きを味わいました。ピアノの演奏も素敵でした。

心あたたまる秋のバスコンサートで感動しました。芸術の秋にふさわしく、こころが洗われました。

本当にいい声。素敵なおピアノの音色でした。空気が震えて、私の心を振るわせてくれました。



## 北プロ報告

新退教は、日退教「北陸ブロック」に属しています。北陸ブロックは、石川県、石川高、福井県、新潟県、新潟高、富山県で構成されています。(年1回程度関係しています)

2024年度の当番県 石川県  
 第48回定期総会 片山津温泉 翠湖  
 日時 2024年6月12日(水)～13日(木)  
 内容 ・会計監査、総会  
 ・講演「能登半島地震を教訓に脱原発社会へ」

## こんにちは 新教組です

がんばれ新教組！



新教組 本部書記次長  
 米澤 祐児  
 (村上市瀬波小)

私は今、新教組が岐路に立たされていると考えています。新型肺炎禍を経験し、対面による組合活動の必要性が問い直され、さらには組合員の構成が変化したことで運動の転換が求められているからです。これまでの新教組運動の歴史やつながりを大切にしながらも、さらなる前進をめざし、新たな運動の形を模索し続けます。

がんばれ後輩！

## 支部からのたより

### 粟島旅行記



北新支部 副支部長  
山崎 文之

六月末に一泊二日で支部主催の粟島旅行に行きました。参加者は十三名でした。私自身は佐渡には何回も行っているのですが、粟島は初めてでした。

岩船港から九十分で粟島に着きました。好天でフェリーも全く揺れず快適な船旅でした。着いてすぐに粟島名物わっぱ汁

中心の昼食をいただきました。絶品でした。午後は、バスに乗り、粟島一周。要所所で見える景色は絶景でした。夕食は、刺身を中心とした魚三昧の料理でした。大いに飲み、食べ、会話をし大いに盛り上がりました。

翌日は、散歩をしたり、牧場で馬と触れ合ったりして過ごしました。帰りのフェリーでは、来年はどこの離島に行こうか盛り上がりつつありました。自然と魚料理が好きな人は、ぜひ、粟島を訪ねてみてください。

### まず知ってもらいたいことから



長岡支部 副支部長  
黒崎 博幸

退職した先生方に新退教加入の声掛けをする、決まって「新退教って、どんな会なんですか。」……といった質問が返ってきます。皆さん、会の中身をしっかりと理解してから、入会するかどうか判断されるようです。先輩に誘われるまま、いつの間にか入会していた私のような人

は、殆ど見られません。

このような近年の退職者の状況から、当支部では、入会促進のための方策を検討しました。その方策の一つは、支部広報紙を支部内全ての学校に配付し、退職が近い先生方に目を通してもらえるようにすることです。若干費用はかさみますが、退職前から新退教の存在や、活動の概要に触れてもらうことで、入会の勧誘がスムーズになることを期待します。多くの先生から、二つ返事で入会してもらえるようになるのではないのですが……

### こんな文化もあつたつけ



南魚支部 組織部  
堀口 生雄

支部の親睦旅行に参加しました。

朝自宅近くで待っていると、派手な色のバスがやって来ました。車中には既に何人も先輩や元同僚の懐かしい顔。その後も何人か乗車し、全員が揃ったところでアルコール飲料が配られます。プシユッ！「かんぱい」。

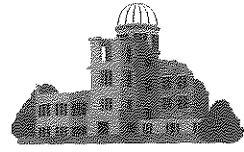
こんな光景は、かつて毎年行われていた『職員旅行』を彷彿とさせるものでした。でも今は、バスが止まるたびにトイレに駆け込むような光景はありません。車中では、しばらくぶりに会う皆さんと適度に飲み・楽しく語る一日を過ごすことができました。

働き方改革でバス運転手さんの走行距離が縮減されたそうで、この度の行き先は渋沢栄一記念館や川越の小江戸横町等でした。自分で運転しなくて済む気楽なバス旅をさせて頂いた幹事さんに感謝しています。

# 戦争の爪痕を偲ぶ旅

村上岩船支部

山口 又一郎



戦後生まれの私は既に古希を過ぎた。もうすぐ戦後

80年を迎える。最近、若くして組合活動の役職に就いた頃、反原発運動や反戦運動に動員されたことなどが思い返される。

今ようやく時間も出来、旅行を試してみたくなり、「戦争の爪痕の地」を辿り、2年

間で次の地を旅行して巡った。

①上田市 無言館・戦没画学生慰霊美術館

②広島 原爆ドーム・平和記念資料館

③長崎 原爆資料館・平和公園

④鹿児島 知覧特攻平和会館

⑤沖縄 ひめゆりの塔・平和記念資料館

戦争の爪痕の地を直接訪れて、直に戦死者の生々しい遺品や遺族の思いなどに触れたことで、改めて戦争の悲惨さや、戦死者の無念さが胸に刺さり、しばらくはその場を動けなかったことを鮮烈に思い返すことができる。

## 猪と共存できる野菜づくりは？



上越支部 事務局次長

橋爪 喬

私の耕作している畑は、柿崎区の山間地にあり、熊こそ出ないが、猪や狸のすみかである。耕地整理された田んぼは、全て電気柵が張り巡らされている。そのため、我が家の畑は、食卓みたくないものなのだ。

しかし、腹を立てても仕方がない。竹やひもで囲って侵入を防いでいるが、何とも心もとない。少しの収穫量であっても、自分で収穫した野菜は格別のうまさがある。

黒川のせせらぎを聞き、米山を仰ぎながら汗をかく体験をこれからも続けていきたい。

「これは困った。」猪の足跡が、我が家の畑まで延々と続いている。不安を抱きながら行ってみると、丹精込めて育てたじゃがが、芋が、すっかり食べ尽くされていく。残念過去にも落花生や長芋等が食べられていたが、今回のじゃが芋には、ショックを隠せなかった。

## 童謡「砂山」

北魚支部

若井陽子



「海は荒海 向うは佐渡よ」と歌い出す曲は私の宝物。

九十歳になる今、一番に挙げたい。

子守りが子どもの仕事だった頃、柏崎の浜辺で砂山をかけ上り、かけ下りて、余なく遊ぶ第二人の気が済むまで待ちながら歌っていた童謡。家事をしながら母が歌っているのを聞いて覚えた。

そんな私に「子どもたちとの約束を守る」北原白秋「菜莢（ぐみ）の雀」1922年来訪の記事を新潟日報が六月十一日に届けてくれた。新潟師範学校の大講堂に集った二十人の子ども達に作ってくださったことを初めて知った。

歌詞を確かめようと開いた「わたしの好きな子どもの中の」安野光雅・講談社発行の中に「これは白秋の歌詞で、わたしの一番好きな歌だ。」の一文を見つけて、ますます意を強くした。黙っていられなくて一筆。



# 9月 日退教高齢者集会

参加者 県幹事 本間 満

9月4・5日、日退教が関わりを強くする四つの集会に参加し、学習を深めました。

○「地公退高齢者集会」では、我々が目指すべき社会保障の充実と公正な税制について説明があり、五年ごとに行われる年金制度改革で働き方改革や経済成長との関係について講義がありました。

○日退教「女性参加者の集い」では、各都道府県のジェンダー平等や女性の参画状況を報告し合いました。役員数や参加者数を男女同数にする取組にびっくりしました。

○「日退教・退女教の学習会」では、水岡俊一・参議院議員の歯切れの良い講演がありました。教員の働き方改革・業務精選は給特法がある限り働かせ放題が続き、労基法が学校に入らないと言いつり、印象的でした。

○退職者連合「全国高齢者集会」では、高橋純子・朝日新聞編集委員からの首相官邸内での取材の裏事情に耳を傾けました。また、「高校生平和大使」の取組報告が高校生から直接あり、未来に光を感じました。



## 新教組とともに取り組んだ署名

署名	取組開始	取組終了	署名者数
ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する請願書	9月1日	～ 10月31日	93筆
核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす「高校生1万人署名」	10月1日	～ 10月31日	29筆
◎ 30人以下学級実現・教職員定数増・教育予算増額を求める請願署名	7月1日	～ 11月8日	1,590筆

※10月末日段階

### お詫び

「30人以下学級実現…請願署名」は、毎年取り組んでいたいただいている署名です。7月に各支部に発送して取り組んでいたいただいているのですが、発送の手違いで署名用紙が届いていない支部がありました。申し訳ありませんでした。

多忙な学校現場を改善することを国に気づかせることのできる署名です。来年度に向けて、取組手順を明確にしていきたいと思っております。

### お知らせ

今年のノーベル平和賞は「被団協」でした。この活動とともに支えている団体として「高校生平和大使」があります。今年の新教組の県教研に来て、活動アピールしていきました。新退教として、「学びの集い」の際に参加者に署名をお願いしました。

## こんにちは 新教組です

がんばれ新教組!



県本部執行委員  
阿部 真理  
(燕市吉田中)

今年度4月から、長期の不妊治療休暇制度が「出生サポート休業」として新設されました。女性たちが悩んでいたことや希望していたことが実現に向けて進んでいます。これまでの先輩方がしてきてくださったように、これからもどんな小さな声にも耳を傾け、女性がいきいきと働きつづけられるよう努力してまいります。



県本部執行委員  
鈴木 宏子  
(長岡市栃尾東小)

教育現場は大変な状況で、代替未配置、特別教室や体育館へのエアコン設置、食物アレルギー対応などの声が分会から毎月寄せられています。新退教の皆様には、30人以下学級の実現・教職員定数増・教育予算増額の署名にご協力いただいています。現場の声、皆様からの想いとともに、請願採択に向けてとりにくんでいきます。

たのむぞ新教組!

10月 日退教研修会①

10/10 五者学習会

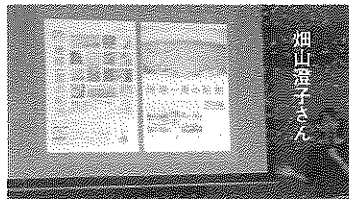
十月十日に日教組・全国退  
女教・日退教・教職員共済・  
教職員相互共済の「第三〇回  
五者合同学習会」が東京ラポ  
ール日教済で行われました。

中島副委員長から基調報告  
がありました。今年の元旦に  
能登半島地震が起こり、9月  
に豪雨災害が起こったことに  
遺憾の思いを伝え、復興の思  
いを表しました。

講演1として、ピースポー  
ド共同代表の畑山澄子さんか  
ら「平和を願う『ピースポー  
ド』演題の講演がありました。  
単なる世界一周旅行ではなく、  
寄港地ごとに現地の方々の  
交流の報告がありました。

コロナ禍後、やつと通常の船旅が実現しま  
した。ただ、ガザ地区の政情不安から、スエ  
ズ運河の利用ができず、喜望峰まわりとなっ  
ています。船は多くの支援物資を運んでいま  
す。今人気のあるものは手で動く「ピアニ  
カ」だそうです。

講演2として「医療・介護をめぐる動向に  
ついて」を連合総合政策推進局生活福祉局長  
の小林司さんから、国の経費削減の意図が国  
民負担を増やす計画になっていることに注意  
しようという話がありました。



10月 日退教研修会②

10/11 組織活動交流会

全国各地で、「平和・組織・教育・人  
権・文化」の視点で、日退教の会員は、  
活動しています。その活動をレポートに  
まとめ、日退教組織活動交流会で実践  
発表をしてくれています。現役の頃の  
「全国教研」のような交流会です。

前段で、今年度の「組織現況調査」報告  
と基調説明がありました。次に、大阪府退  
教から「大阪府退教は何が変わったのか？  
役員全員男性から女性参画で〜」の分科  
会共通実践発表がありました。この後、第  
一分科会で七本、第二分科会で八本の実践  
発表がありました。

参加者からの感想

〈交流会の2県の報告の感想〉

全国的に会員数が減少している現状にあ  
ります。我が新潟は全国ベスト7位くらい  
にとどまっています。今は、かつての日教組  
の闘士（役員）が勧誘活動をすればするほ  
ど、入会しないという報告があり、皮肉な  
現実を知らされました。

日退教組織活動交流会では、北海道退教  
から加入促進の課題やジェンダーの課題対  
応についての実践報告がありました。山口  
県退教の「はだしのゲン」に関わる広島県  
教委の気になる動きが報告され、平和が次  
第にゆがめられている現実を知りました。

(副会長 米山 忠彦)

がんばれ新教組！



新潟市支部委員長委員  
内山 大樹  
(新潟市万代長嶺小)

新教組新潟市支部の執行委員長に就任し  
て9か月。さまざまなとりくみの中で、貴  
重な経験ができる喜びと、決断することの  
難しさを感じています。組合員同士のつな  
がりを強化し、組織を拡大して、処遇改善  
を図ります。「子どもたちの笑顔のために」  
新退教のみなさんと思いを一つに、とりく  
みを進めます。



柏刈支部書記長  
松崎 祐太  
(柏崎市荒浜小)

柏刈支部では、青年部主催の新採用者歓  
迎会、女性部主催の父母と教職員の会をは  
じめ、各種行事を通じて、横の連帯を強固  
にし、組織強化に努めてきました。一方、  
学校現場の多忙さ、人員不足、原発再稼働  
の問題など課題は山積しています。組合員  
の声を一つ一つ形にし、一致団結して新教  
組運動を前に進めていきます。

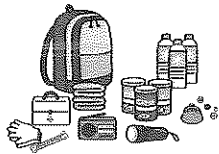
たのむぞ新教組！

こんにちは 新教組です

# 能登半島地震 新退教被災者支援 見舞金贈呈からの声

## <新退協会員の被災状況>

支部名	半壊	損壊	その他
新潟市	1	1	
三南		3	
柏刈		1	
新潟五泉		1	
西蒲・燕	1	5	1
上越		3	
糸魚川		1	
合計	2	15	1



2024年1月元旦に起こった能登半島地震は新潟県内にも大きな被害を与えました。日退教本部からの支援と新退教カンパで、新退教会員の被災の見舞金対応を行うことができました。支援していただいた関係各位には感謝申し上げます。地震後、新退教支部役員を中心に被害調査を行いました。その後、新退教通信を使って、調査期間を延長しました。被害に遭われた会員の方を丁寧に対応していくことができました。今後とも何かありましたら、事務局にご連絡ください。

**新退教 被災会員 H・E.**  
 この度は、能登半島地震にかかわる丁重なるお見舞いを賜り誠にありがとうございます。おかげ様で、少しづつ被害を修理することができ、家族皆で日常の安定した暮らしを取り戻すことができようになつて参りました。大変ありがとうございました。  
 今後とも、新退教活動に協力しながら、皆様のご厚志にお応えできるように精進する所存です。期団体のますますのご発展をご祈念申し上げ、お礼といたします。

**新退教 被災会員 K・S.**  
 能登半島地震の見舞金ありがとうございました。皆様の心遣いに感謝申し上げます。私の住んでいる新潟市江南区では、江戸時代に信濃川が流れていたところを埋め立てて宅地にしたところ。地震では、地下水が湧き出て、道路も陥没し、傾いた家が何軒もありました。我が家は駐車場のコンクリートが崩れ、地震の横揺れで玄関入り口までひび割れが起きました。  
 今回のような地震が起きて欲しくないという思いはありますが、地震の対応を再検討しないといけないと思う次第です。

**新退教 被災会員 Y・M.**  
 この度は、過分なる指針のお見舞い金を頂戴しました。新退協の皆様のお心遣いに感謝申し上げます。  
 年の始まりに、思ってもみなかった災害に遭遇し、ライフラインの断絶や家屋の倒壊等にはしばしば呆然としておりました。しかし、近所の先生のご家族や大先輩の先生から多大なる励ましやご支援をいただき、何とか今に至っております。  
 幸い90才を超える母もケガなく、自然災害のなせる技を少しづつ受け止められる迄になりました。被害ははかり知れないのですが、既に現役ではありませんので、できる範囲で快適に生活するために、あれこれと頭を悩ませている日々です。頂いたお見舞い金は、家屋の修繕に使わせていただきました。ありがとうございます。新退教の皆様のご健勝を心よりお祈りしています。

(広告)

教職員共済組合員のための

# マイページができました!

教職員共済 マイページ

検索

<https://www.kyousyokuin.or.jp/kumiai.html>



## LINE公式アカウントもできました!



お友だち登録はこちらから



イメージキャラクター「あむりん」

厚生労働省認可

## 教職員共済生活協同組合

〒162-8624 東京都新宿区山吹町10-1 ラポール日教済